

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月23日更新

事務事業名	学校・家庭・地域連携推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画	政策	2	福祉の健康		所属部	教育委員会事務局	課長名	飯開 輝久雄
体系	施策	4	子育て支援の充実		所属課	生涯学習課	担当者名	松本 聡一郎
	施策の柱	17	地域における子育て支援		所属班	生涯学習班	(内線)	1504
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番	11291	根拠法令	地域と学校の連携・協働体制構築費補助事業
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域学校協働活動事業の活動及び家庭教育を行う団体の活動支援を行う。 ◆地域学校協働活動 各小中学校に配置する推進員を中心に、地域と学校の連携を図り、子ども達の成長を支援。 ※事業費については、地域と学校の連携・協働体制構築費補助事業より国・県・市が1/3ずつ負担する。 【主な活動内容】 ・各種会議、研修会の実施 ・西合志中学校未来塾 ・西合志第一小学校ボランティアの会 ◆家庭教育支援 市内小中学校PTAや保育所の保護者会等の家庭教育活動を行う団体に対して、25,000円を上限に補助金を交付している。
【業務の流れ】	◆地域学校協働活動 各種会議や研修会の開催。中学校区毎に、各校の取り組みについて情報共有を行う。 ◆家庭教育支援 実施団体へ、補助金交付の事務手続きを行う。
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	合志中学校及び西合志南中学校における地域未来塾実施の為、核となる人材を発掘する。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・地域学校協働活動運営委員会(7月)を実施した。 ・地域学校協働活動コーディネート会議(9月)を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、地域学校協働活動運営委員会及び地域学校協働活動コーディネート会議(11月)を中止した。 ・西合志中学校で地域未来塾(9月~12月)を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、西合志中学校地域未来塾(1月~3月)を中止とした。 ・西合志第一小学校ボランティアの会へ補助金を交付した。	①地域学校協働活動運営委員会、地域学校協働会議コーディネート会議及び研修会の開催 ②地域未来塾の実施 ③西合志第一小学校ボランティアの会への補助金交付
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア! 年間活動実施数	日 地域学校協働活動を行う際の推進員への謝金の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市内の子ども達	(単位) ア! 地域学校協働活動推進委員 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
子どもたちが合志市に愛着と誇りを持ち、地域に貢献したいと考える人材を育てる。	(単位) ア! 地域のボランティア数(子ども110番の家の数、子ども会の組織数、子育てサークル・母親クラブの数) 件
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠	
中学校区毎に地域学校協働本部を整備、及び学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を推進する。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 1,576	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標	ア	日	50	110	110	0	110	110	110	110
② 対象指標	ア	人	12	12	12	0	14	14	14	14
③ 成果指標	ア	件	350	350	380	350	380	380	380	380
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	190	214	221	308	715	221	221
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,283	784	1,081	300	1,048	1,081	1,081	1,081
	(A) 事業費計	千円	1,473	998	1,302	608	1,763	1,302	1,302	1,302
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	5	2	4	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	210	580	210	1,035	210	210	210	210
	(B) 人件費計	千円	827	2,298	836	4,081	836	836	836	836
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,300	3,296	2,138	4,689	2,599	2,138	2,138	2,138

事務事業名	学校・家庭・地域連携推進事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 事業に参加する生徒について成績のあがり成果があらわれた。今後、地域の支援者を増やし多くの生徒が参加できるよう努めたい。
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事業の範囲内で工夫を凝らして実施しているため
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 地域には潜在的な協力者があると思われるので、事業の趣旨を浸透させることで成果向上が期待できる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 本事業は、国・県からの補助事業であるため。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の2/3が国・県から補助されるので、削減は考慮していない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 学校と地域をつなぐコーディネーターの謝金のみが人件費となるため削減はできない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国からの受託事業であり、受益者負担の考え方になじまない事業である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域住民、学校が一体となって既に取組んでいる。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

【前年度内容】学校・家庭・地域の連携が図られ、地域の特性を生かした教育力の向上が図られている。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						